

## 瓦から見た高句麗広開土王陵

千田剛道(奈良文化財研究所名誉研究員)

はじめに

広開土王陵をどの古墳にあてるかをめぐっては種々の議論がある。瓦の様相からこの問題を考えてみたい。

### 1. とりあげた代表的な説

將軍塚説

永島暉臣慎説(1981、1982、1986、1988)

伝東明王陵=長寿王の寿陵説、北魏の陵墓制度との関係、

真坡里4号墳=文咨明王陵説も

田村晃一説(1984) 谷豊信説(1989)

王陵築造順序 瓦の年代観

東潮説(1994、1997、2011) 墳丘、石室の築造規格、石室系統、陵園制、労働力ほか

太王陵説

吉林省文物考古研究所ほか説(2004)

桃崎祐輔(2005)

### 2. 瓦編年の諸説

田村晃一・谷豊信説 太王陵→千秋塚→將軍塚

桃崎祐輔説 千秋塚→太王陵→將軍塚

### 3. 高句麗王陵と瓦

瓦を使う習俗

積石塚(瓦当をともなう)

卷雲文瓦 西大塚、麻線2100号墓、禹山992号墓

卷雲文瓦・蓮蕾文瓦 千秋塚

蓮蕾文瓦 太王陵、將軍塚

封土墳

蓮蕾文瓦 漢王墓

### 4. 王陵付属寺院

伝東明王陵は瓦をともなわれないが、前面に寺院があり、密接な関係が想定される。王陵に寺院が付属するのは高句麗では定陵寺のみ。やはり北魏の制度の影響であろう

まとめ

瓦の年代観では千秋塚→太王陵→將軍塚説が合理的で、広開土王陵は太王陵の可能性が高いことになる。

そのほかの王陵比定にも言及する。

漢王墓にともなう瓦は5期(千田 2015)で、定陵寺の創建瓦も同時期である。墳丘裾に積石を有する伝東明王陵は瓦を伴わない。漢王墓の墳丘には、積石をともなわず、伝東明王陵に後続する型式であろう。

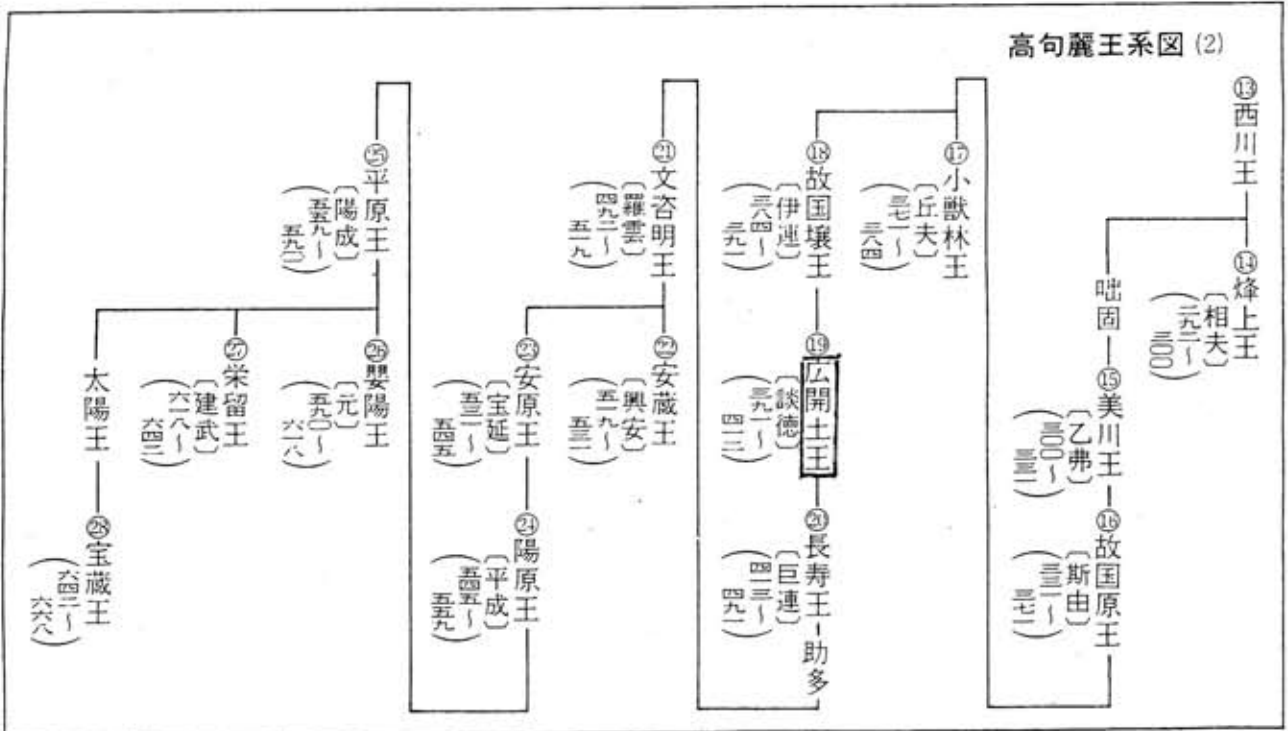
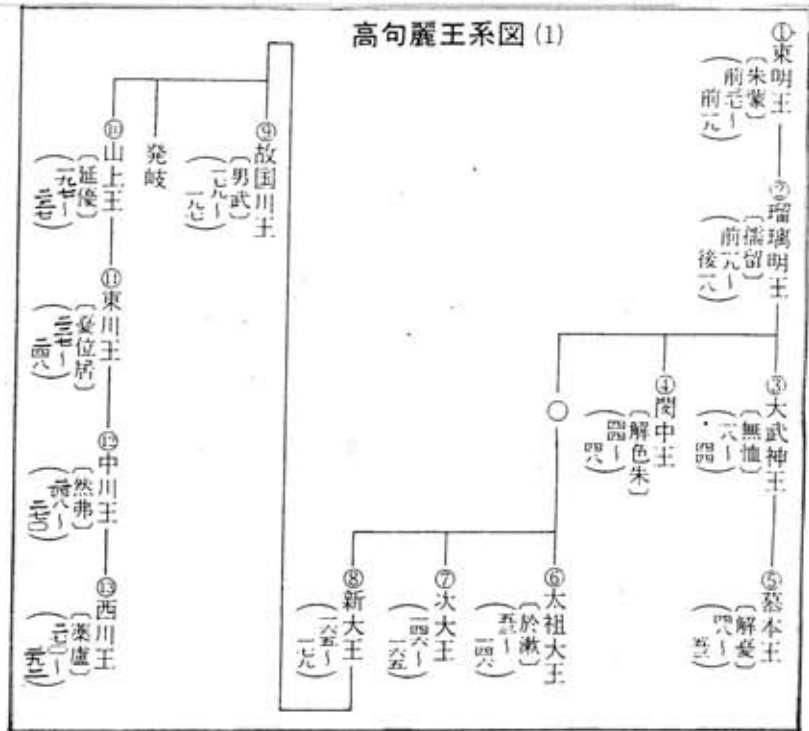
以上から、広開土王陵とその他の王陵を瓦の様相からみると、千秋塚=故国壤王陵、太王陵=広開土王陵、將軍塚=長寿王陵、伝東明王陵=文咨明王陵と考えられ、漢王墓は、その後の王陵と推測する。

## 資料

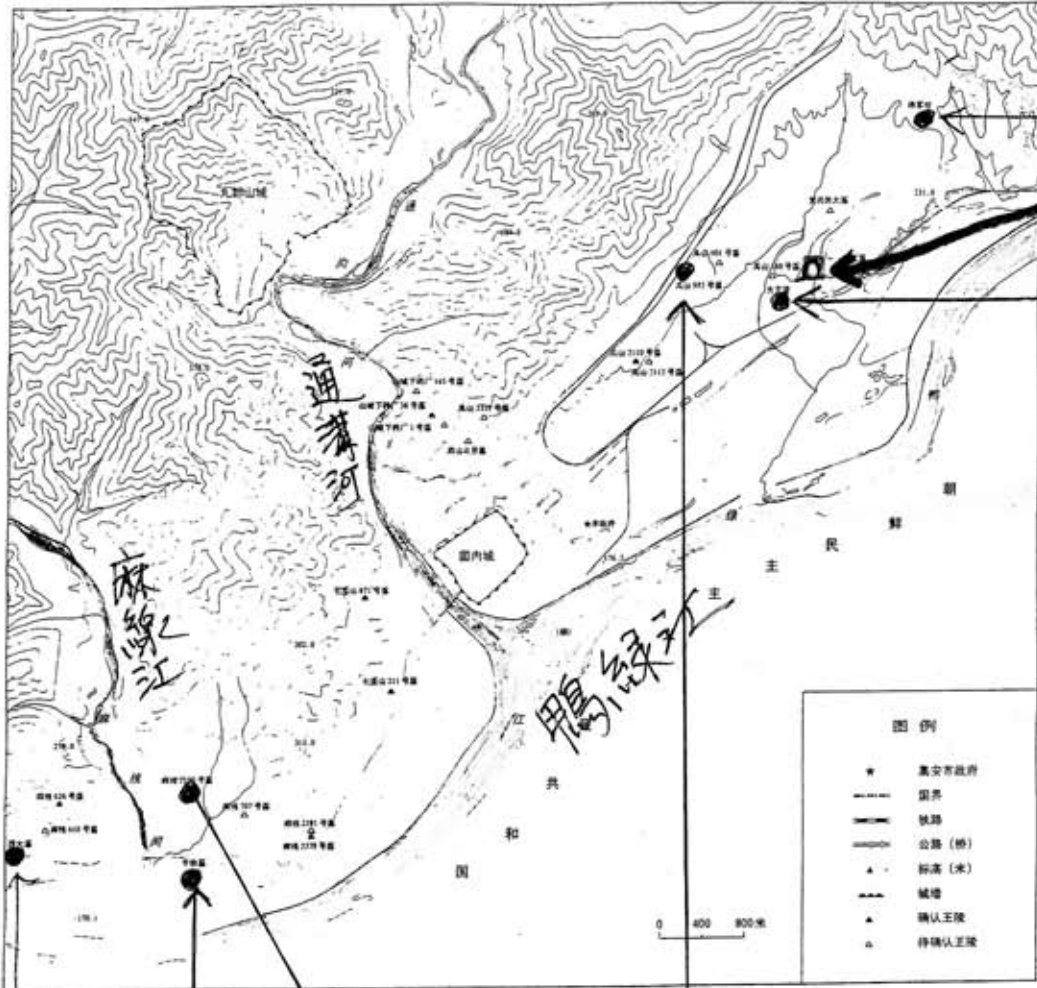
- ①高句麗王系図
- ②集安の大型積石塚
- ③太王陵・千秋塚
- ④將軍塚
- ⑤西大塚・麻線2100号墓・禹山992号墓
- ⑥定陵寺・伝東明王陵・古墳群
- ⑦伝東明王陵・真坡里4号墳
- ⑧漢王墓・出土瓦
- ⑨卷雲文瓦の変遷と年代・蓮華蕾文瓦の変遷と年代
- ⑩高句麗瓦の編年・瓦編年からみた高句麗都城関係遺跡

## 参考文献

- |                   |      |  |
|-------------------|------|--|
| 東 潮               | 1994 | 「国内城時代の巨大積石塚」「高句麗王陵の比定問題」<br>『高句麗の歴史と遺跡』（東潮・田中俊明編著）中央公論社         |
| 〃                 | 1997 | 『高句麗考古学研究』吉川弘文館  |
| 〃                 | 2011 | 『高句麗壁画と東アジア』学生社  |
| 吉林省文物考古研究所・集安市博物館 | 2004 | 『集安高句麗王陵－1990～2003年集安高句麗王陵調査報告－』文物出版社                            |
| 共同通信社             | 2005 | 『高句麗壁画古墳』  |
| 金日成総合大学           | 1976 | 『東明王陵とその付近の高句麗遺跡』金日成総合大学出版社                                      |
| 武田幸男              | 1989 | 『高句麗史と東アジア』岩波書店  |
| 〃                 | 2007 | 『広開土王碑との対話』白帝社   |
| 谷豊信               | 1989 | 「四、五世紀の高句麗の瓦に関する若干の考察－墳墓発見の瓦を中心として－」『東洋文化研究所紀要』108号              |
| 田村晃一              | 1984 | 「高句麗の積石塚の年代と被葬者をめぐる問題について」『青山史学』8(のち田村晃一2001『楽浪と高句麗の考古学』同成社、に収録) |
| 千田剛道              | 1997 | 「飛鳥寺と石舞台古墳から考える」『堅田直先生古希記念論文集』同刊行会 真陽社                           |
| 〃                 | 2015 | 『高句麗都城の考古学的研究』北九州中国書店  |
| 朝鮮総督府             | 1915 | 『朝鮮古蹟圖譜 二』   |
| 永島暉臣              | 1981 | 「高句麗の都城と建築」『難波宮址の研究』（第7 論考編）大阪市文化財協会                             |
| 〃                 | 1982 | 「高句麗の壁画古墳－真坡里古墳群について－」『日・韓古代文化の流れ』帝塚山考古学研究所                      |
| 〃                 | 1986 | 「高句麗古墳の流れと影響」『日本の古代 6』中央公論社                                      |
| 〃                 | 1988 | 「集安の高句麗遺跡」『好太王碑と集安の壁画古墳』読売テレビ放送                                  |
| 濱田耕策              | 1986 | 「広開土王陵比定論の再検討」『朝鮮学報』119・120                                      |
| 桃崎祐輔              | 2005 | 「高句麗太王陵出土瓦・馬具からみた好太王陵説の評価」<br>『海と考古学』海交史研究会考古学論集刊行会 六一書房         |



①高句麗王系図 (『高句麗の歴史と遺跡』)



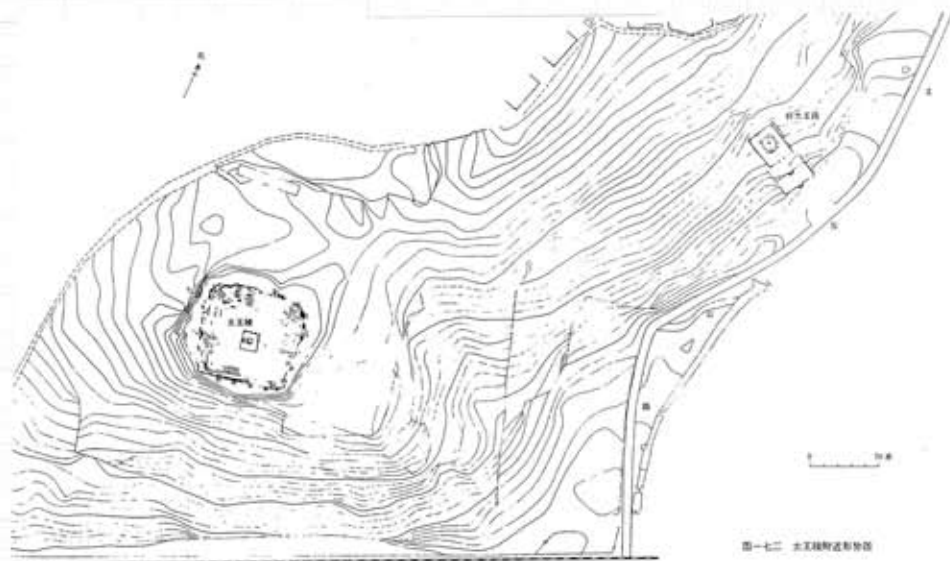
西大墓

千秋塚

麻線2100号墓

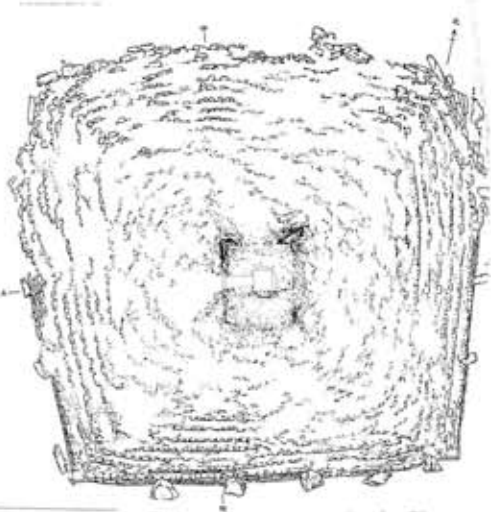
崑山992号墓

②集安の大型積石塚 (『集安高句麗王陵』)



图一七二 太王陵附近地形图

辛卯年  
好太王



图一七三 太王陵平面图

太王陵



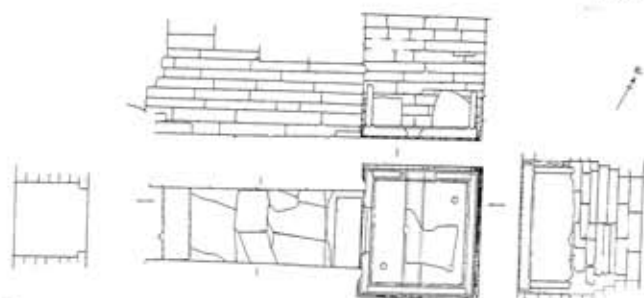
图一七四 太王陵西面



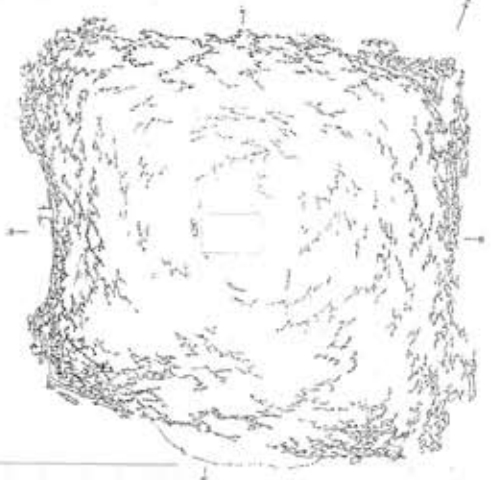
图一七五 太王陵东面



图一七六 石表



图一七八 太王陵内部



图一七九 千秋塚平面图

千秋塚

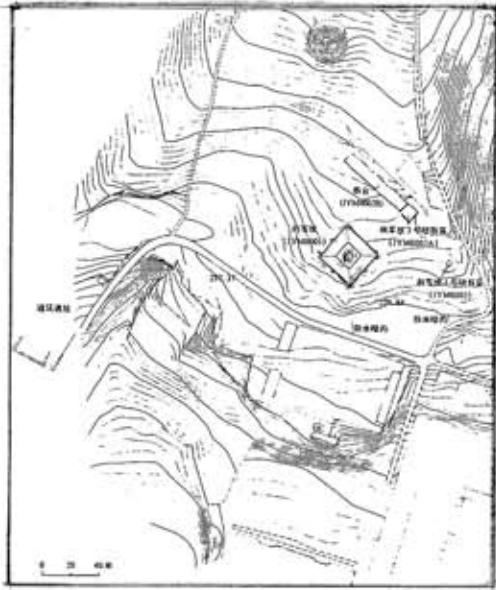


图一八〇 千秋塚西面



图一八一 千秋塚石表

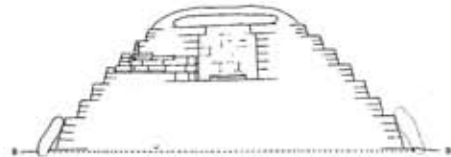
③太王陵·千秋塚 (『集安高句麗王陵』)



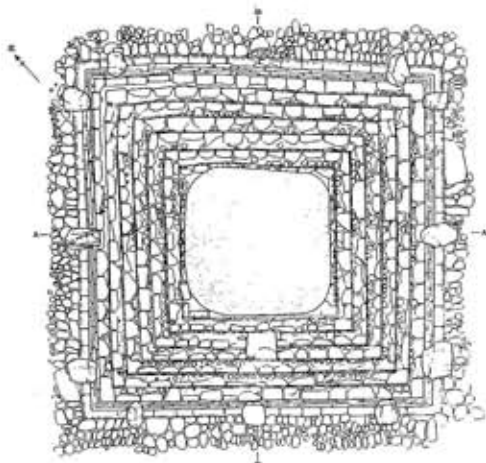
圖二五二 將軍塚附近形勢圖



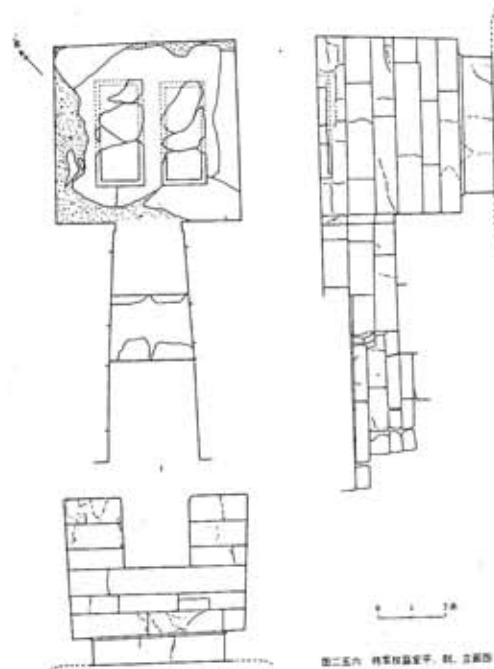
將軍塚



將軍塚



將軍塚



將軍塚

④將軍塚 (『集安高句麗王陵』)